



2024年3月期第1四半期決算説明資料



2023年7月26日
メタウォーター株式会社

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業（略語：PE事業）：国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業（略語：SS事業）：国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理（保守・点検）、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

<語句説明>

EPC	Engineering, Procurement and Construction：設計・調達・建設
O&M	Operation and Maintenance：運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership（公民連携）：公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative：公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate：公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法

I 2024年3月期第1四半期決算ハイライト

II 2024年3月期第1四半期決算概要

I 2024年3月期第1四半期決算ハイライト

II 2024年3月期第1四半期決算概要

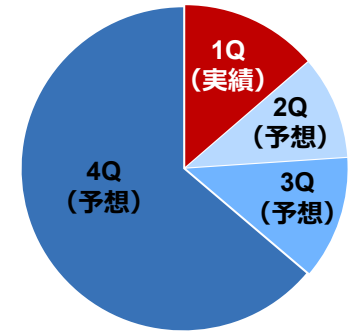
'24/3期1Q 決算ハイライト（連結）

■ 受注高

EPC事業、海外事業、O&M事業、PPP事業ともに好調に推移し、前期実績を上回った。
 （参考）受注残高：'23/3期1Q末 2,043億円 ⇒ '24/3期1Q末 2,593億円（+550億円）

■ 売上高・利益

'24/3期 四半期別売上構成



当社グループの事業は、国内公共事業が大半を占め、売上・利益が4Qに著しく偏る傾向があり、**例年1Qの売上高は年間の1割程度。**

当1Qの売上高は、PPP事業が順調に推移し前期を上回った。

一方利益は、EPC事業、北米子会社の業績が前期と比較し低調に推移したことなどにより、各利益ともに前期を下回った。なお、経常利益には為替差益の減少影響（2億円）を含む。

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり配当金 (円)	
'24/3期 1Q実績	518 前期比：+136 +35.6%	212 前期比：+12 +6.2%	-25 前期比：▲6	-21 前期比：▲10	-19 前期比：▲9	-	
'23/3期 1Q実績	382	199	-19	-11	-10	-	
'24/3期 予想* (*'23.4.26公表)	1,600 前期比：▲334 ▲17.3%	1,550 前期比：+43 +2.8%	100 前期比：+13 +15.1%	95 前期比：+4 +4.8%	64 前期比：+1 +2.4%	第2四半期末 22	期末 22

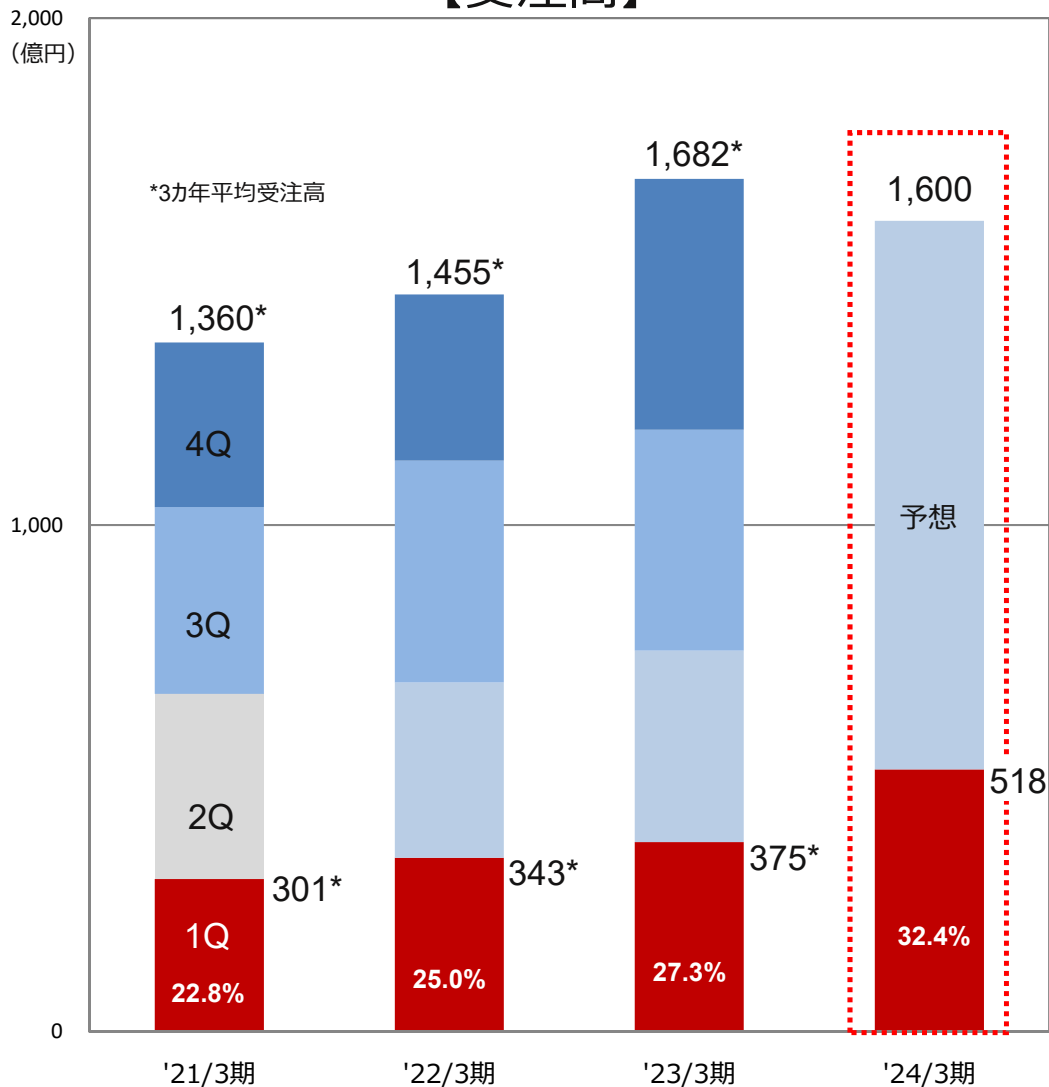
※10百万円単位を四捨五入（以降の実績値も同様）

'24/3期1Q 受注高・売上高推移 (連結)

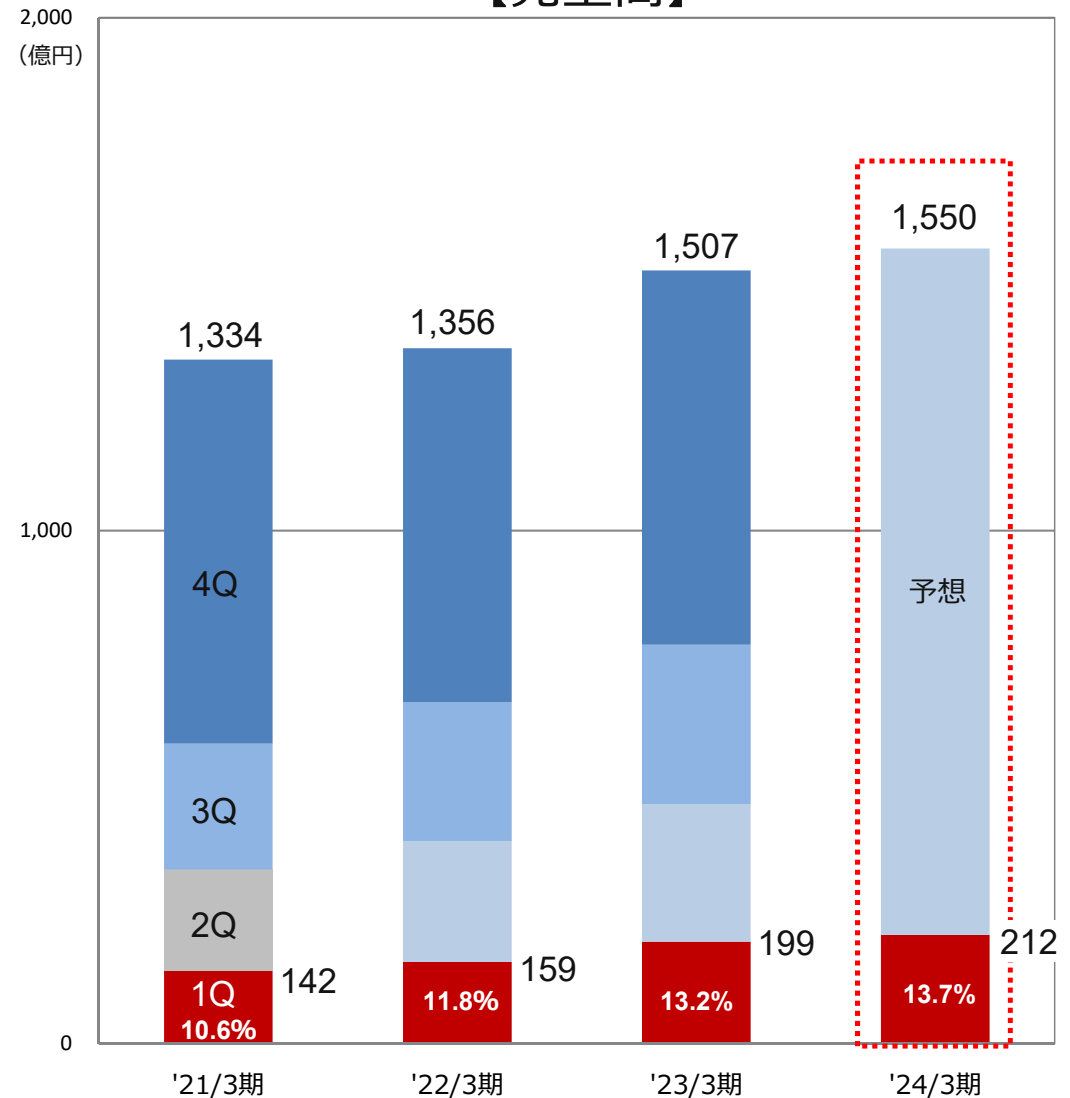
例年1Qの受注高は年間の2~3割、当期は若干上回る水準。

例年1Qの売上高は年間の1割強、当期は例年並みの推移。

【受注高】



【売上高】

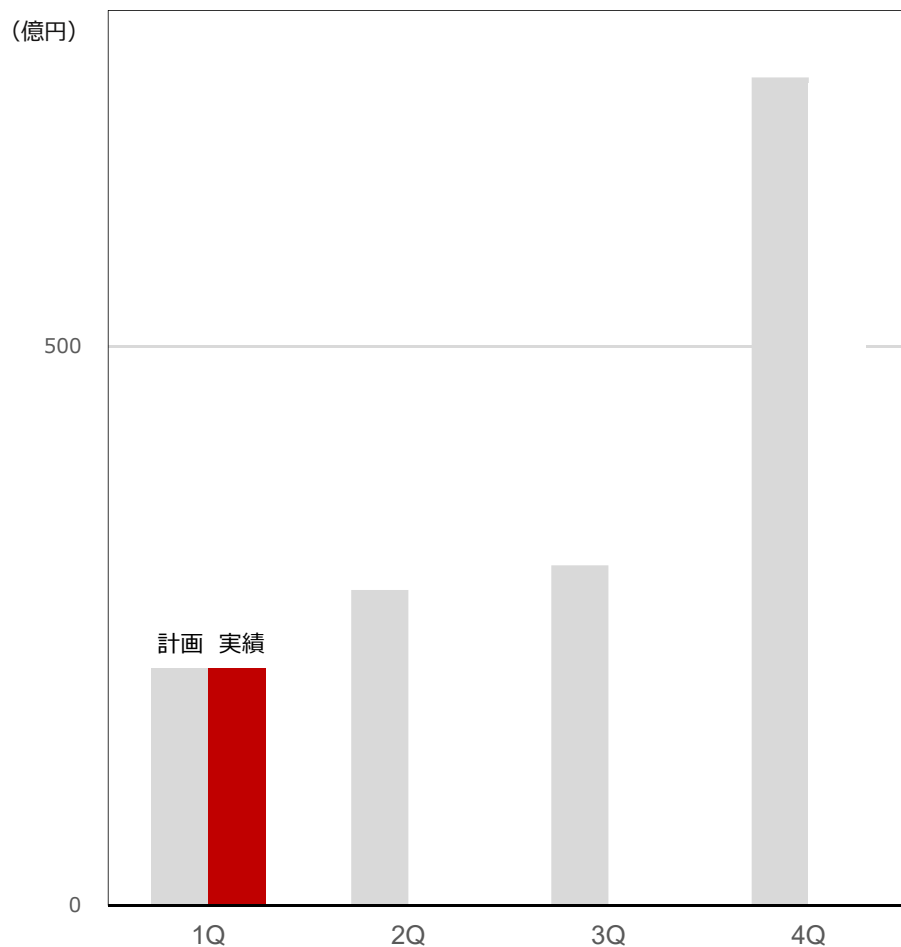


※'23/3期 PPP大型案件「大阪市汚泥処理施設整備運営事業」を受注

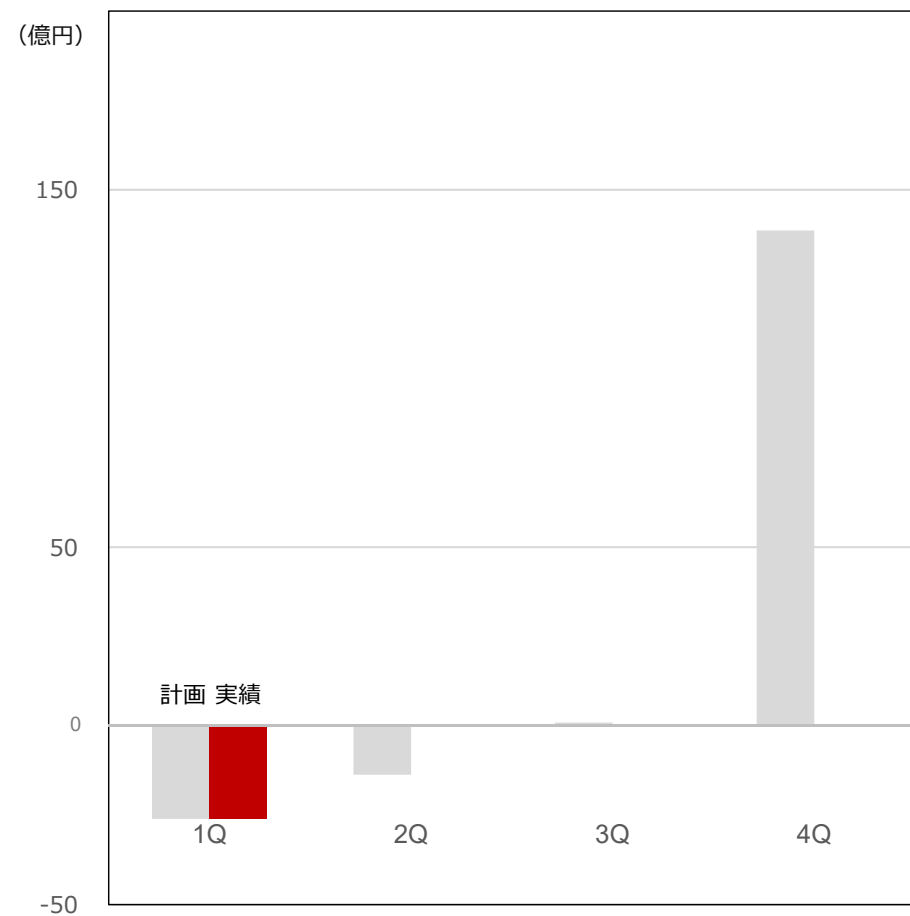
売上高・営業利益 1Q実績とQ別計画

1Qの売上高、営業利益は、ともに計画通りに進捗しており問題無し。

【売上高】



【営業利益】



事業活動

- * 当社が参画する共同企業体が「大阪河南地域 7 水道事業水道施設管理業務等」の事業実施契約を締結（4月）
- * 小規模分散型水循環システムおよび水処理自律制御システムの開発を行うWOTA株式会社に出資（6月）

研究開発

- * 脱炭素社会実現に向けた低コスト嫌気性消化技術の共同研究を開始（6月）

その他

- * 水のポータルサイト「メタウォーターランド」をリニューアルオープン（4月）
- * メタウォーターTwitter*公式アカウントを開設（4月） *2023年7月22日現在

【お知らせ】「メタウォーターレポート2023」を当社公式ホームページにて公開予定（8月1日）

I 2024年3月期第1四半期決算ハイライト

II 2024年3月期第1四半期決算概要

Ⅱ 2024年3月期第1四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント別概況
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(億円)

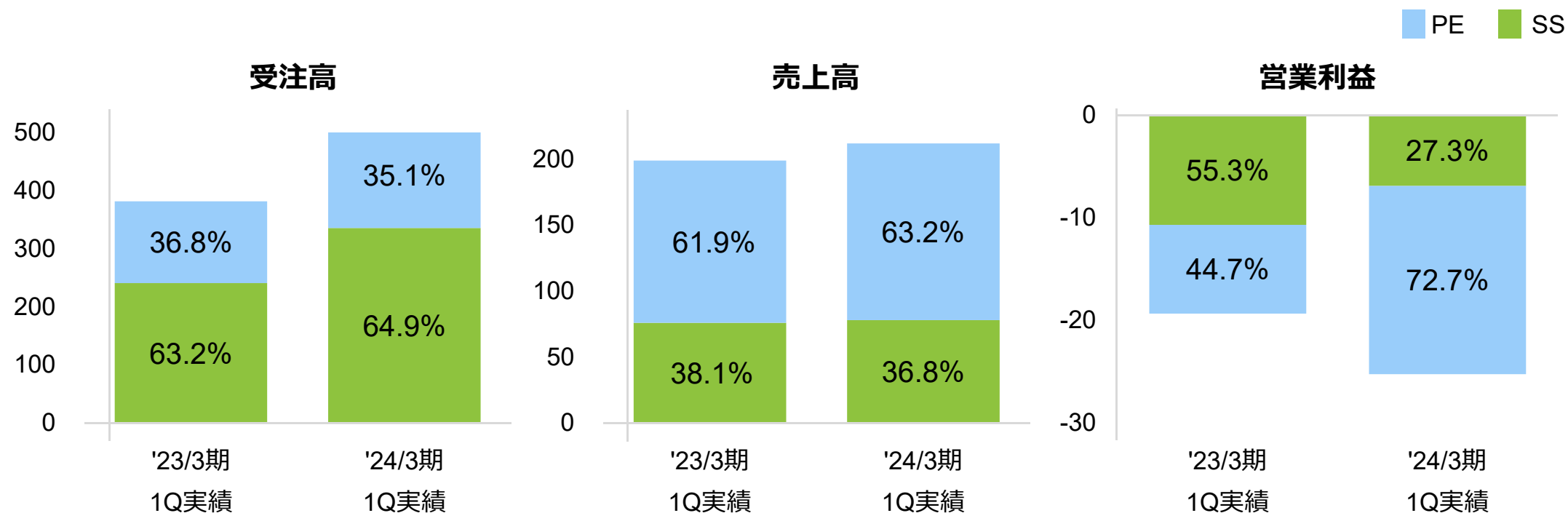
	'23/3期 1Q実績	'24/3期 1Q実績	増 減
売 上 高	199	212	+12
営 業 利 益	-19	-25	▲6
(営 業 利 益 率)	-9.7%	-11.9%	▲2.2%
経 常 利 益	-11	-21	▲10
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-10	-19	▲9

*10百万円単位を四捨五入（以降の実績値も同様）

セグメント別概況 (連結)

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'23/3期 1Q実績	'24/3期 1Q実績	増減	'23/3期 1Q実績	'24/3期 1Q実績	増減	'23/3期 1Q実績	'24/3期 1Q実績	増減
プラントエンジニアリング事業	141	182	+41	123	134	+11	-9	-18	▲10
サービスソリューション事業	241	336	+95	76	78	+2	-11	-7	+4
合計	382	518	+136	199	212	+12	-19	-25	▲6



セグメント別概況 (連結)

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'23/3期 1Q実績	'24/3期 1Q実績	増減	'23/3期 1Q実績	'24/3期 1Q実績	増減	'23/3期 1Q実績	'24/3期 1Q実績	増減
プラントエンジニアリング事業	141	182	+41	123	134	+11	-9	-18	▲10
サービスソリューション事業	241	336	+95	76	78	+2	-11	-7	+4
合計	382	518	+136	199	212	+12	-19	-25	▲6

プラントエンジニアリング事業

【受注高・受注残高】

受注高は、EPC事業、海外事業が好調に推移し前期を上回った。
受注残高は、前期を110億円上回った。('23/3期1Q末1,148億円 ⇒ '24/3期1Q末 1,258億円)

【売上高・営業利益】

売上高は前期を上回ったが、営業利益は前期を下回った。

- ・EPC事業は、売上高および営業利益共に前期を下回った。
- ・海外事業は、売上高は前期を上回ったが、営業利益は北米子会社が低調に推移し前期を下回った。

サービスソリューション事業

【受注高・受注残高】

受注高は、O&M事業およびPPP事業共に前期を上回った。
受注残高は、前期を441億円上回った。('23/3期1Q末 895億円 ⇒ '24/3期1Q末 1,336億円)

【売上高・営業利益】

売上高、営業利益共に前期を上回った。

- ・O&M事業は、売上高および営業利益ともに前期と同水準だった。
- ・PPP事業は、売上高および営業利益ともに前期を上回った。

連結貸借対照表

(億円)

	'23/3期 期末実績	'24/3期 1Q末実績	増 減
現金・預金	117	354	+236
売上債権・契約資産	872	486	▲386
仕掛品・貯蔵品	99	147	+48
その他	38	50	+12
流動資産計	1,126	1,037	▲89
有形固定資産	52	52	+0
無形固定資産	125	149	+24
繰延税金資産	27	25	▲2
その他	96	95	▲1
固定資産計	301	322	+22
総資産計	1,427	1,359	▲68

	'23/3期 期末実績	'24/3期 1Q末実績	増 減
買掛債務	356	231	▲125
短期借入金	*1 (9) 33	(7) 13	▲19
契約負債	71	179	+108
その他	132	96	▲36
流動負債計	592	521	▲72
長期借入金	*2 (111) 111	(132) 132	+21
その他	57	56	▲1
固定負債計	168	188	+20
負債計	761	709	▲52
純資産計	666	650	▲16
負債・純資産合計	1,427	1,359	▲68

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'23/3期 1Q実績	'24/3期 1Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	206	111	▲95
営業キャッシュ・フロー	276	261	▲15
投資キャッシュ・フロー	-10	-25	▲16
フリー・キャッシュ・フロー	266	236	▲30
財務キャッシュ・フロー	11	0	▲11
現金・現金同等物に係る 換算差額等	0	0	0
現金・現金同等物の期末残高	483	347	▲136

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にとって有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見直しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 コーポレートコミュニケーション室 コーポレートコミュニケーション部

Tel : 03-6853-7317 Fax : 03-6853-8709 E-mail : pr@metawater.co.jp

補足資料 案件リスト

工事受注（10億円規模以上）

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	福山市次期ごみ処理施設整備・運営事業	広島県	SS
	東部汚泥処理プラント汚泥焼却設備 1、2号改良・補修工事	東京都	PE

運転・維持管理 新規受託／業務開始

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	佐千原浄水場中央監視設備更新及び運転管理事業【業務開始】	愛知県	SS